

～ 若手労働基準監督官からのメッセージ～



氏名：吉野 利行

所属：仙台労働基準監督署

任官年月：平成28年4月



1. 印象に残っている中央研修の講義は何ですか？

私は理系出身なので、労働基準法などの法令や専門用語の知識がなく、業務に不安がありましたが、法令一般に関する基礎知識の講義を受け、今後の自信につながりました。

また、労働安全衛生法の実務に関する講義においては、失われた命によって現在の労働安全衛生法がつむがれてきたことを聞き、改めて労働災害を防ぐために直接力になれる労働基準監督官の重要性を認識しました。

2. 実際の勤務してみたの感想は？

労働環境の改善などを実行するのは会社自身ですが、一方で労働基準監督官の仕事はそのきっかけを与える重要な役割があると感じています。

3. 職務で心がけていることは何ですか？

①労働条件など労働者を取り巻く環境がまったく同じという会社は存在しないので、それぞれの会社の状況に応じて柔軟な対応をとること、②法律違反を指摘するだけでなく、なぜこの法律があるのか、そしてなぜ法律違反が生じたのかなどを考え、その法律違反を今後生じさせないために、行政としてできることを常に考えることを意識しています。

4. この仕事をしてみて、どのようなやりがいがありますか？

直接労働者の生の声が聞け、守られて当然ことが守られておらず苦しんでいる労働者のために労働基準監督官に与えられた権限を行使し、労働者の労働条件の確保改善などを図ることができることだと考えています。

5. 将来どのような監督官になりたいですか

初心を忘れず、また、バランスのよい労働基準監督官になりたいと考えています。